

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 4 年度第 1 回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 会長及び副会長の選任について【公開】 2 専門部会の委員の指名等について【公開】 3 日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況に係る報告・評価について【公開】
日 時	令和 4 年 8 月 1 日（月） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 15 分まで
場 所	野田市役所 8 階 大会議室
出 席 委 員	会長 高峰 啓三、副会長 加藤 満子、伊藤 賢一、大野 祐子、小俣 文宣、金剛寺 守、清宮 絹江、田中 愛、内藤 浩幸、中野 徹也、並木 徹、萩野 史啓、前堀 由佳、増田 雅樹、松原 良太、宮崎 英雄、山口 忠司、山本 茂、吉岡 靖二、渡邊 宏治
欠 席 委 員	秋永 道太郎、池田 亜由美、海老原 孝雄、岡田 吉郎、逆井 一夫、清本 健二郎、古賀 晴美、小林 公平、間々田 英示、渡邊 正登
事 務 局 等	今村 繁（副市長）、小林 智彦（福祉部長）、原田 陽子（障がい者支援課長補佐兼計画係長）、日下 水樹（障がい者支援課計画係主査）、山崎 淳美（障がい者支援課計画係主任主事）、内田 遥香（障がい者支援課計画係主事）
傍 聴 者	無し
議 事	令和 4 年度第 1 回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。
障がい者支援課長補佐	【開会】 令和 4 年 8 月 1 日午後 1 時 30 分開会。 事務局から新型コロナウイルス感染症対策を説明後、配布資料の確認及び事前送付資料を差し替えがあることを説明する。 会議録作成のため録音機を使用することで了承を得る。
副市長	<副市長挨拶>
障がい者支援課長補佐	欠席委員を報告する。 会議の成立について、30 人の委員中 20 人の委員が出席し半数以上の出席があることから、協議会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により、本会議の成立を報告する。 会議の公開について、個人情報等の不開示情報を取り扱うことがないことから原則公開することを報告するとともに、本日

	は傍聴者がいないことを報告する。 【議題 1 会長及び副会長の選任について】 協議会設置要綱第 6 条の規定により議長には会長が当たるとあるが、委嘱後初めての会議であることから会長が選出されていないため、仮議長を副市長が執り行うこととしたいが、いかがか。 ＝異議無しの声あり＝
障がい者支援課長 補佐	
障がい者支援課長 補佐	異議がないため、副市長が仮議長を務めることを宣言する。 ＝副市長が仮議長席に着席する＝
副市長	会長選出について、協議会設置要綱第 5 条第 2 項の規定により、委員の互選によるとされているが、その選出方法について伺う。
加藤 満子委員 副市長	指名推薦はいかがか。 指名推薦との意見があったが、異議はないか。 ＝異議無しの声あり＝
副市長	異議がないため、指名推薦により選出する。推薦をお願いする。
加藤 満子委員 副市長	野田市における基幹相談支援センターの運営実績のある、社会福祉法人円融会の理事である高峰 啓三委員を推薦する。 会長に高峰 啓三委員を推す意見があったが、ほかにあるか。 ＝推薦意見無し＝
副市長	ほかに推薦がないため、会長を高峰 啓三委員に決定することに異議はないか。 ＝異議無しの声あり＝
副市長	異議がないため、会長は高峰 啓三委員に決定する。 会長が決定したため、これをもって、仮議長の任を降りる。 ＝高峰 啓三会長が会長席へ移動＝
高峰 啓三会長	<会長挨拶>

障がい者支援課長 補佐 高峰 啓三会長	議事の進行について、協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長にお願いする。 続いて、副会長の選出を行う。
協議会設置要綱第5条第2項の規定により、委員の互選によるとされているが、その選出方法について伺う。 小俣 文宣委員 高峰 啓三会長	指名推薦はいかがか。 指名推薦との意見があったが、異議はないか。 ＝異議無しの声あり＝
高峰 啓三会長 小俣 文宣委員	異議がないため、指名推薦により選出する。推薦をお願いします。 野田市障がい者団体連絡会の代表である加藤 満子委員を推薦する。
高峰 啓三会長	副会長に加藤 満子委員を推す意見があったが、ほかにあるか。 ＝推薦意見無し＝
高峰 啓三会長	ほかに推薦がないため、副会長を加藤 満子委員に決定することに異議はないか。 ＝異議無しの声あり＝
高峰 啓三会長	異議がないため、副会長を加藤 満子委員に決定する。
加藤 満子副会長	＜副会長挨拶＞ 【議題2 専門部会の委員の指名等について】
高峰 啓三会長 福祉部長	専門部会の委員の指名等について、事務局から説明を求める。 本協議会には現在、権利擁護部会、子ども部会、就労支援部会、相談支援部会、医療的ケア児者支援部会、地域生活支援拠点運営会議の六つの専門部会を設置している。専門部会の委員構成について、協議会設置要綱第7条第2項の規定により、本会から会長の指名により部会に加わる委員、委員からの推薦により部会に加わる委員及び市長が任命した関係課職員により構成される。本会からの委員について、委員のうちから会長が指名した者となり、部会のみに加わる委員については、委員の推薦に基づき、市長が委嘱した者となる。 ついで、各専門部会への本会からの委員について会長による指名を得るとともに、専門部会に加わる委員について、委員各位の推薦をお願いしたい。 なお、地域生活支援拠点運営会議を構成する委員については、

高峰 啓三会長	本協議会の会長、副会長及び各専門部会の部会長で構成することとし、令和２年１月１７日開催の本協議会で承認を得ている。 今後、各部会長が決定した後、会長から指名いただき、当該委員へ委嘱したい。 各専門部会への本会からの委員について、指名する。 権利擁護部会には、千葉司法書士会柏支部の逆井 一夫委員、柏人権擁護委員協議会野田部会の金剛寺 守委員、社会福祉法人野田市社会福祉協議会の中野 徹也委員、野田市障がい者基幹相談支援センターの並木 徹委員、千葉県立野田特別支援学校の前堀 由佳委員及び松戸公共職業安定所野田出張所の松原良太委員を指名する。 子ども部会には、野田市立こだま学園の小林 公平委員、野田市障がい者基幹相談支援センターの並木 徹委員を指名する。 就労支援部会には、障害者就業・生活支援センターは一とふるの田中 愛委員、社会福祉法人野田市社会福祉協議会の中野 徹也委員、野田市障がい者基幹相談支援センターの並木 徹委員を指名する。 相談支援部会には、野田市障がい者基幹相談支援センターの並木 徹委員、障害者就業・生活支援センターは一とふるの田中 愛委員を指名する。 医療的ケア児者支援部会には、野田市障がい者基幹相談支援センターの並木 徹委員を指名する。
福祉部長	続いて、委員の推薦に基づき市長が委嘱する部会委員及び職員のうち市長が任命した者について、事務局から説明を求める。 前期間において、各専門部会に協力いただいた関係機関へ引き続き協力を願うとともに、新たにほかの関係機関について協力を願う形で、推薦案を作成した。審議をお願いしたい。
高峰 啓三会長	事務局から示された各専門部会の委員推薦案について、質問等はあるか。 ＝質問等無し＝
高峰 啓三会長	それでは、専門部会の委員の指名等について、原案のとおり承認してよろしいか。 ＝異議無しの声あり＝
高峰 啓三会長	異議がないため、議題２について、原案のとおり承認する。 【議題３ 日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況に係る報告・評価について】
高峰 啓三会長	議題３について、事務局から説明を求める。

福祉部長	審議方法について、新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑みて、事業者による説明を省略し、次のとおりとしたい。 「報告・評価シート」の記載事項について、委員には質問事項を事務局へ提出してほしい。事業者には回答を求め、後日、事業者の回答を委員へ送付する。その回答内容を踏まえた上で、委員には、「報告・評価シート」の市町村協議会等記入欄に、要望・助言・評価を記入して事務局へ提出してほしい。
高峰 啓三会長	事務局からの説明のとおり、質問事項を提出すること及びそれに対する事業所からの回答を踏まえた上で「報告・評価シート」の提出による要望・助言・評価を実施するということによるのか。
加藤 満子副会長	各事業者に対する質問の方法と、質問者が質問に対する回答をどのように得られるか、もう一度説明してほしい。
福祉部長	委員と事務局で、何度かやり取りしたいと考えている。 1回目は、事業者に対する質問の提出である。委員には、8月19日までに提出をお願いしたい。それを取りまとめ事業者へ送付し、回答を求める。その回答を事務局で整理した上で、委員へ送付する。
高峰 啓三会長	その後、2回目は、その回答で問題がなければ、委員には、「報告・評価シート」の提出をお願いしたい。ただし、まだ委員から再度質問等がある場合には、事務局が調整し、事業者へ再回答を求める等の対応をしたい。 ほかに質問はあるか。 =質問無し=
高峰 啓三会長	質問がないため、質疑応答の方法、「報告・評価シート」の提出及び最終的な評価結果の取りまとめについて、異議はないか。 =異議無しの声あり=
高峰 啓三会長	異議がないため、議題3の審議を終了する。 委員各位には、質問事項の提出及び「報告・評価シート」の提出を願いたい。 【その他（報告事項）】
高峰 啓三会長 障がい者支援課長 補佐	事務局から、報告事項等はあるか。 特にない。
高峰 啓三会長 加藤 満子副会長	それでは、委員から何かあるか。 先ほど、それぞれの専門部会の委員が決定した。新型コロナウイルス感染症の影響等の事情もあると思うが、専門部会の開

福祉部長	催を速やかをお願いしたい。 専門部会について、実務のいろいろな協議事項も含まれ、是非開催したいところではあるが、そのときの状況に応じて、最適な開催の方法を検討し、協議運営を行いたい。
吉岡 靖二委員	今回の協議会で設置されている音声文字表示機器について、これは今後どのように活用されるのか教えてほしい。また、この機器を設置している理由も教えてほしい。
福祉部長	この機器は、本会議では初めての設置となる。障がいのある人が、それぞれの障がい特性に合った情報獲得をする上で、その方法の一つと考えている。
	例えば、聴覚に障がいのある人だけでなく、聞いた言葉の理解が難しいといった障がいのある人などに対して、この機器により表示される画面を見ると、発言者の発言内容が分かるよう補助する、そのような目的で設置している。
加藤 満子副会長	今後の活用方法等については、委員の意見等も踏まえながら、広げて、啓発していきたい。
	私は、過日行われた野田市障がい者基本計画推進協議会で初めて拝見した。出席した委員から、障がいのある人だけでなく、加齢により聴力の落ちた人にとっても、発言内容が表示されて分かりやすいという感想があったので、参考にしてほしい。
高峰 啓三会長	ほかに意見又は質問等があるか。 ないため、以上で本会議を終了する。
	【閉会】
	午後 2 時 15 分閉会を宣言する。
	以上